

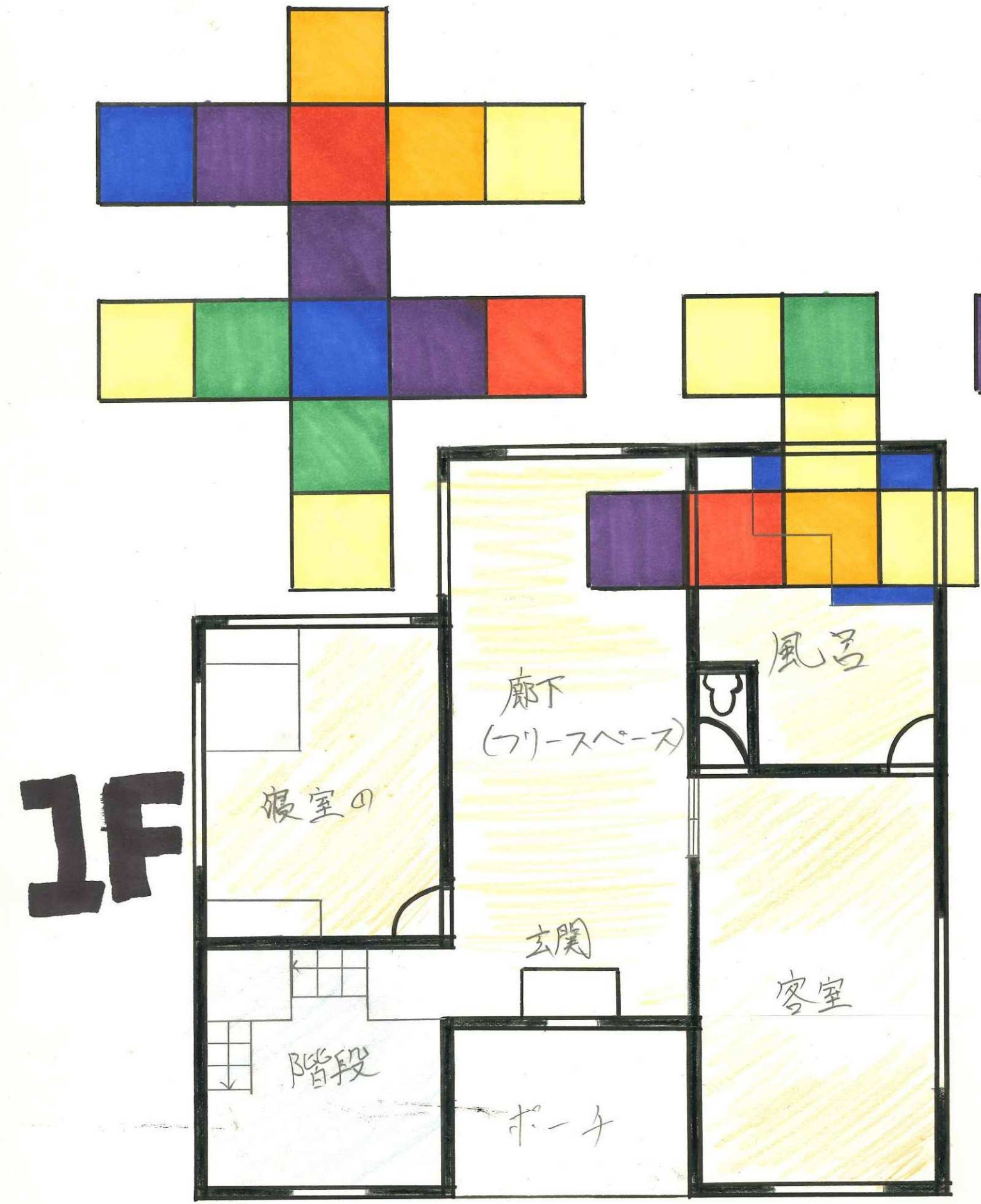
29

水戸工業高等学校 3年

関根 龍人

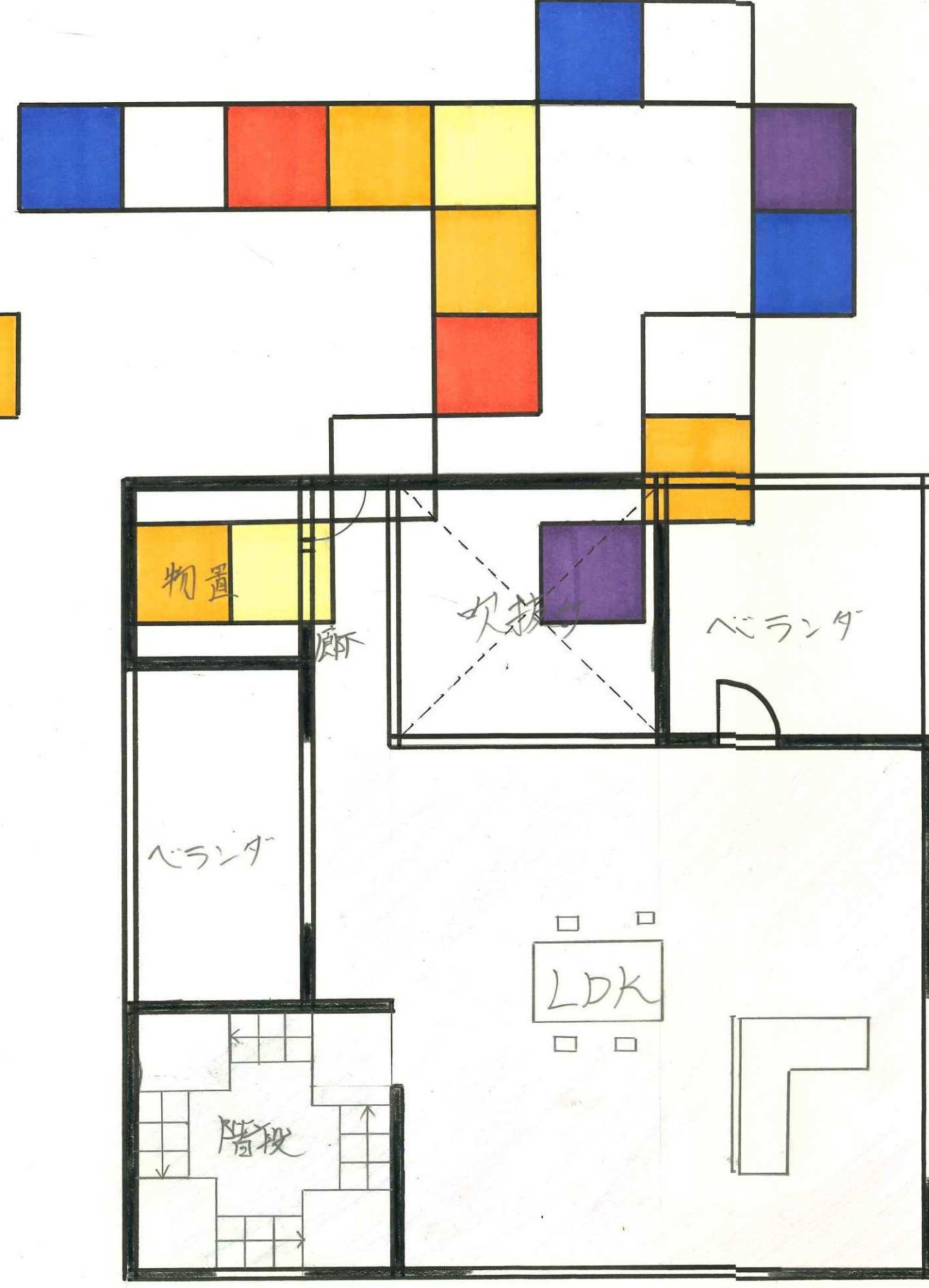
キューブ ハウス



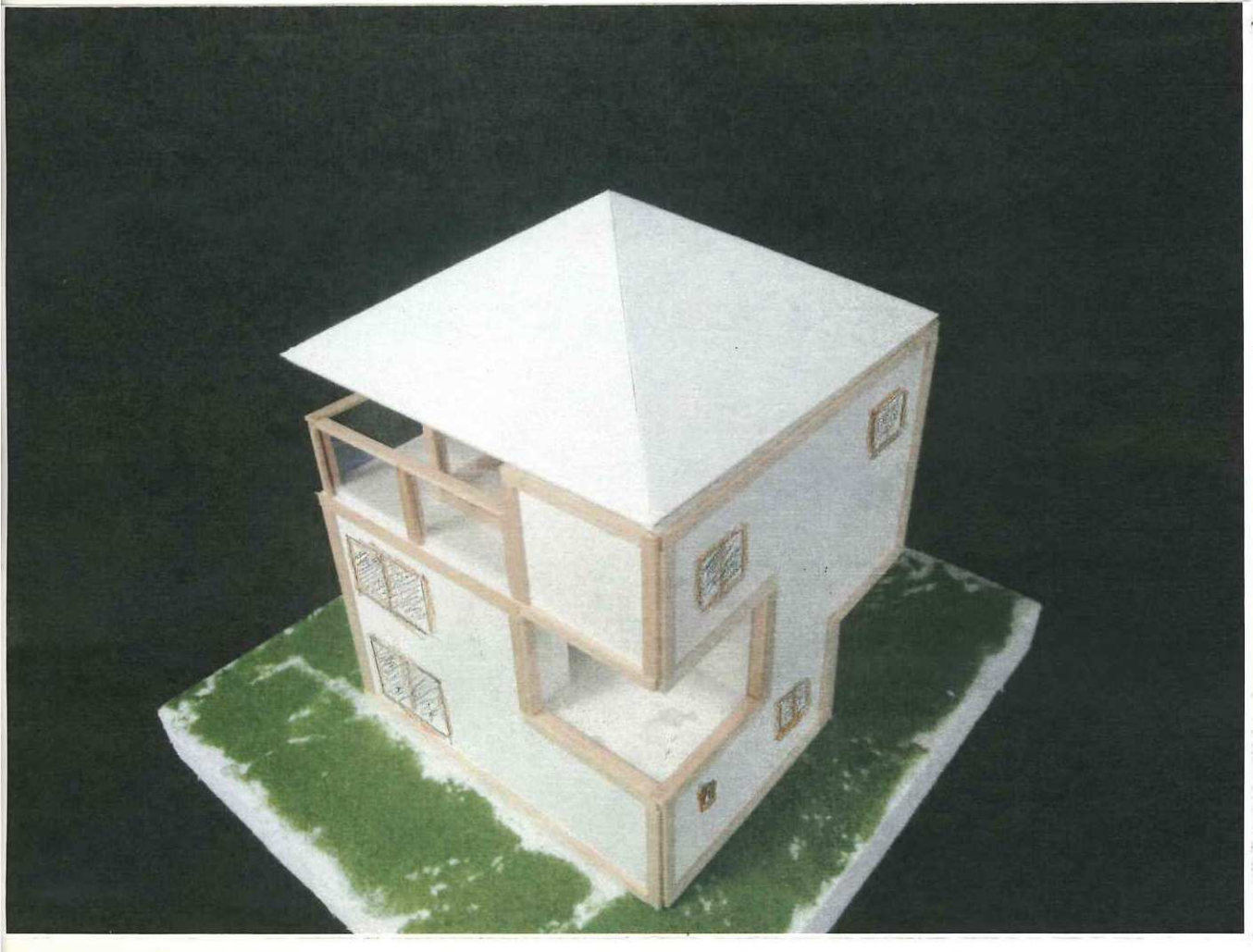
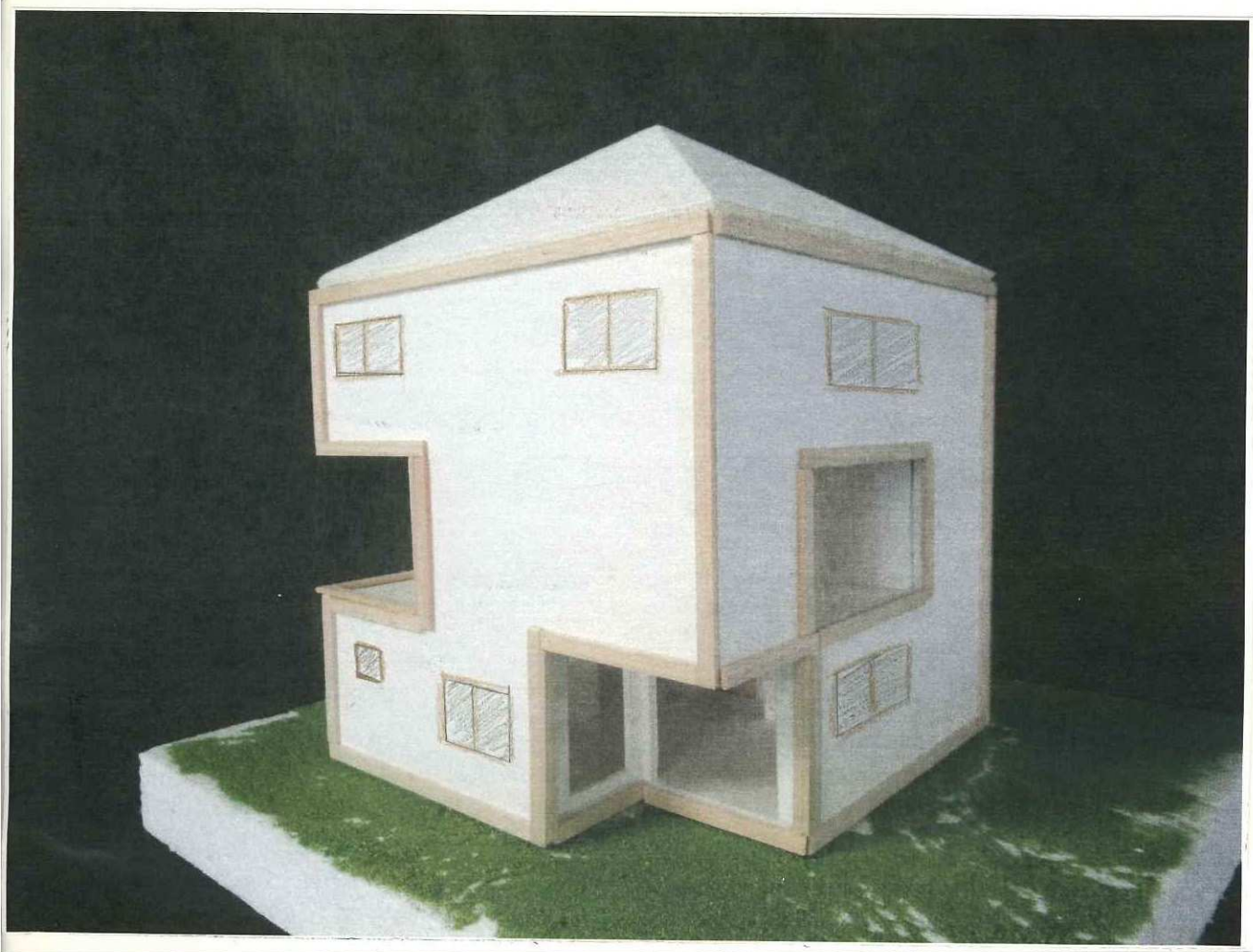
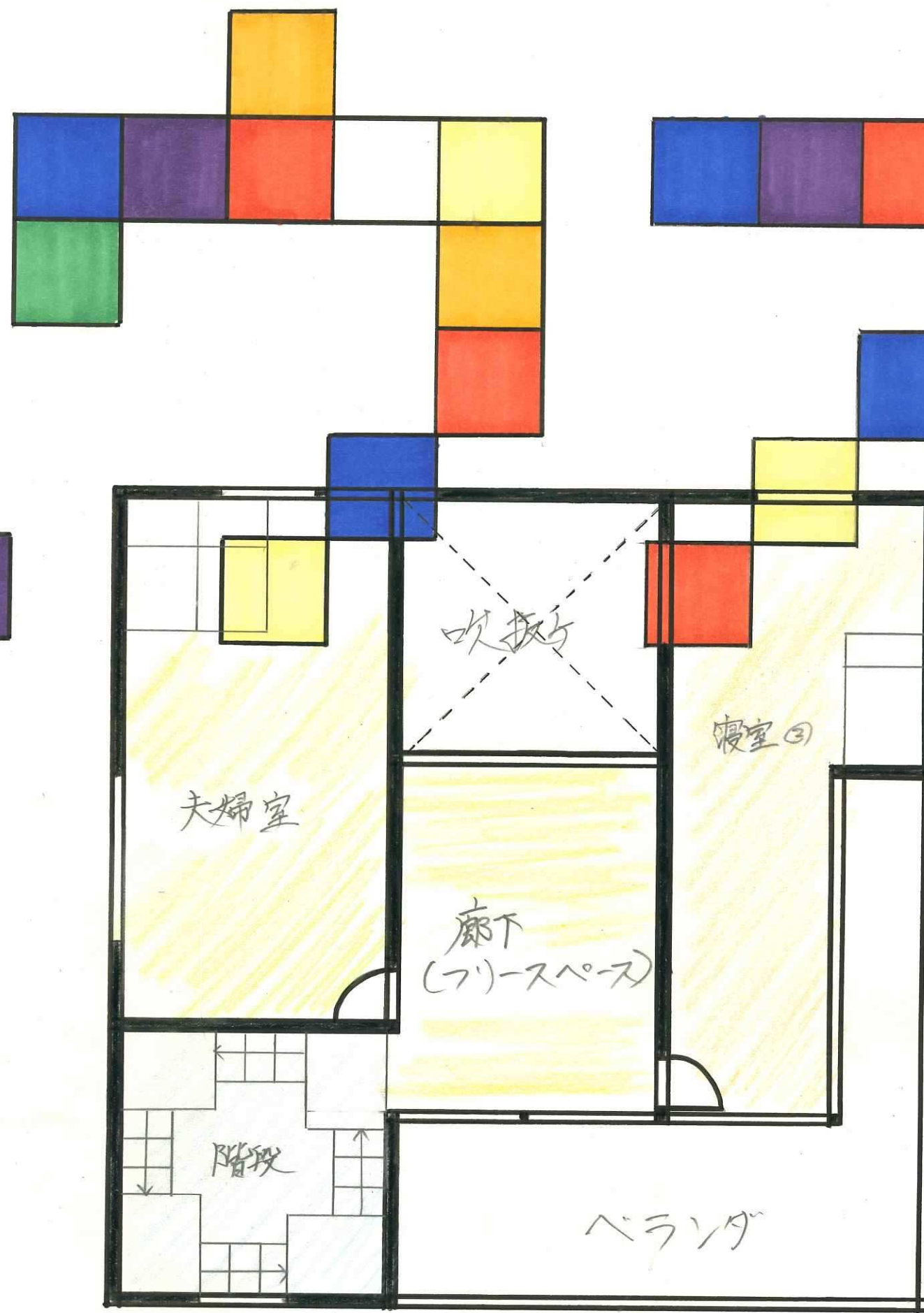


1F

2F



3F



キューブという考え

正方形は美しい、その考えから家づくりを考えた。正方形から作り出す間取りは、凹凸をどのように組み合わせるかで住みやすさが変化する。壁を構造体の耐力として、自由に形を変化させた。屋根は方形とし、形状は正三角形とした。

一階には子供部屋①、二階にはLDK、三階には夫婦室と子供室②を置き、吹き抜けで各階をつないだ。居室は壁で区切られるのではなく、床で区切られ、階段と吹き抜けで空間をつなぐ。

各階にはキューブの中にポーチ、ベランダを置き外の空間もキューブに入れた。

敷地には、芝を植えて、手入れをすることもなく、自然の状態で生育を見る。

この家に住むことによって、横に区切られた空間でプライベートを過ごし、縦に区切られた空間でコミュニケーションを図り、キューブという形の中に自由を閉じ込めた家である。



屋根の必要性

私は、フラット屋根は美しいが、問題も多い。日本古来の屋根づくりは、日本で生活する上では必要な文化と考える。

